

アンケートで寄せられた意見について（抜粋・要約）

1 宿題の取扱いについて

- 宿題ができる程度の自習時間を確保してほしい
- 読書の時間を確保してくれることで、読書習慣がついた
- 他のクラブでは宿題を見てくれるらしいが、なぜうちの子のクラブは見てくれないのか
- 宿題は家でできるので、お友達と過ごす時間を大切にさせて欲しい
- 漢字の書き順や算数の考え方など古い教え方をされ、学校と違うことで混乱している

→放課後児童クラブは、放課後の児童を安全な場所で保育することを目的とした事業です。学習指導、採点、修正など、塾のような役割を担うことは難しいことを御理解ください。

放課後の健全な過ごし方として、学年に応じて自習の時間を確保し、宿題や読書、漢字の書き取りや算数ドリルなどを促すほか、自習時間中は静かに過ごすことをルールとすることで、継続的な自主学習の習慣づけに繋がりたいと考えています。

2 プログラミング教室について

- プログラミング教室など、良い体験をさせていただいている
- 負担金を上げないといけないほど赤字なのであれば、プログラミング教室のような過剰なサービスをやめて現在の負担金を維持してもらいたい

→プログラミング教室については、小学校では2020年度から、中学校では2021年度からの学習指導要領で必修化されたことを受けて、受注者が独自に行う提案事業として実施されており、その経費に保護者負担金は含まれていません。

賛否それぞれのご意見があるようですが、これまで無かった新たな教育内容のきっかけ作りとして、市としても好意的に受け止め、今後も引き続き実施してもらいたいと考えています。

3 外遊び時間の確保について

- 特に土曜日や長期休暇期間について、時間を限定してでも外遊びをさせてほしい。
- 目の前に運動場があるのに遊べないことに子どもたちはストレスを感じている

→児童クラブ活動中は、お子様の安全確保が最重要課題です。

外遊びには一定のリスクも伴いますので、支援員の人数等が限られている中、ど

の程度の活動が可能なのか、慎重に検討したいと考えています。

一方で、利用児童クラブ支援員の故意や重過失によらない不慮のケガ等について、スポーツ保険の補償の範囲で対応することを承諾していただくなど、保護者側にも一定の寛容さをいただければ実現が難しいところもあります。

今回のアンケートで外遊びのニーズが強いことが分かりましたので、もう一步踏み込んだ調査も含め、今後重点的に検討すべき課題としていきたいと考えています。

4 支援員の対応について

○いつも子どものことを大切に見守ってくださって支援員さんにはとても感謝しています。

○特別な配慮をお願いしていますが、支援員の先生は子どもの様子を見ながら丁寧に対応してくださり、感謝しかありません。

○みなさんいい先生ばかりで、子どもは児童クラブをととても楽しんでます。

●迎えの際に、子どもの様子を話してもらえることが全くない。時々でも子どもがどのように過ごしているのか伝えて欲しい。

●感情のまま叱る先生がいて、子どもが児童クラブに行きたがらず困っている。暴力的な指導が行われているのではないかと疑われることがある。

●子どもが少ししんどいと言うと、すぐに迎えに来るよう言われるが、仕事の調整が難しいこともある。熱や吐き気があるような状態でなければ、少し静かにさせて様子見をするなど、柔軟な対応をお願いしたい。

→支援員には、定期的な研修受講を義務付けるなど、適切な保育・生活支援ができるよう配慮しているところですが、アンケート結果からも個人差が確認されます。

今後も適切な対応ができるよう、指導等を行います。支援員の対応で気になることがあれば、下記までご遠慮なくお伝えください。

◇公立放課後児童クラブに関する連絡先

※支援員に直接伝えにくい内容がありましたら、下記の連絡先までお願いします。

欠席の連絡など通常の連絡は、これまでどおり各クラブをお願いします。

- ・ 社会福祉法人くじら伊予本部 089-989-8030
- ・ 伊予市市民福祉部子育て支援課 089-982-1119